

---

# ゆるゆり 百合(?)な日常

しっとりチョコ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ゆるゆり 百合(?)な日常

### 【Nコード】

N2323Y

### 【作者名】

しっとりチョコ

### 【あらすじ】

ここでは、小説のことは超ド素人の私が短編集を掲載していきま  
す。自分で読んでも駄文と思える作品なので、どうか暖かい目で見  
てくれるとありがたいです。様々なカップリングや思いつきシチュ  
エーションなど、おもしろく書いていこうと思います。また、タイ  
トル通り百合要素が混じってたりなかったりですがこれからどうぞ  
よろしく願います。

また、カップリングやシチュエーションなどのリクも募集中です！

いやあー京結サイコ〜

いろんな私的理由で不定期更新です。

ふと、思ったけど、駄文すぎてリクなんて来ないんじゃないかな…

## 京結な日常（前書き）

今回は定番である京結を書いてみました。  
最後まで読んでくれたらうれしいです。

また、誤字・脱字、読みにくいなどの意見がありましたら遠慮なく  
どうぞ。

文才についてはどうにもなりませんww

## 京結な日常

ピンポン

お昼になり、ちょうど昼食を食べようと思った頃に玄関のチャイムが鳴る。

「はい、どなた…」

「お昼食べに来たよー結衣いー」

…ピッ

即、インターフォンのボタンを押して切る。

まったく、あいつはどつてこつもタイミングのいい時に来るのだろうか…。

まあ、いつものことなのでもうどつでもよくなっているけど…。

ピンポンピンポンピンポンピンポン

「…」

そして、今度は定番となりつつある連続ピンポン。

このまま続けられるとご近所に迷惑なので早足に玄関へ行き…

「結衣ーお昼食べにきて…」

ゴンッ！

「まったくお前は…いつも急だな。」

「結衣が寂しそうにしてそうだったから早く来たのにさー」

「寂しくなんかない」

今日もいつものごとく、私の目の前では京子が本日の昼食であるハンバーグを食べている。

…頭にたんこぶをつけながら。

「やっぱり結衣の料理はおいしいな」

「どうも」

「…あれ、結衣のハンバーグ、私のと違う」

「ああ。私のはケチャップがかかってて、京子のはチーズがのってるんだよ」

「ふーん。…じゃあさ、結衣」

「ん？」

「はい、あーん」

「!？」

突然、京子が私の前に一切れのハンバーグをもってくる。  
い、いきなり何を…

「結衣も私の食べたいでしょ？」

「そ、そんなこと……」

「いいから。はい、あーん」

「…あ、あーん」

パクツ…モグモグ

「おいしい？」

京子が首をかしげて聞いてくる。

「お、おいしいよ」

「へへ、さっすがあたしー」

「いや、作ったのは私なんだけどな」

「結衣、私にもあーんして」

「え……」

「ほら、早くー」

「じゃ、じゃあ…あ、あーん」

「あーん」

パクツ…モグモグ

「お、おいしい？」

「うん、おいしい」

ただ、京子と食べさせ合いっこしてるだけなのに…なんでこんなにドキドキするんだろ…

「ふうー」ちそーさま

「」ちそつさま

お昼を食べ終えた私たちは食器を片づけてこの後何しようか考えた。だけど…

「ふああ…眠くなってきたなー…」

「私も…」

私たちに睡魔が襲いかかる。正直、このまま眠ってしまいたい…

「京子…寝る？」

「うん、寝たい…」

意見合致したので早いけどテーブルを片づけ、布団を引っ張り出す。

「結衣、おやすみー」



「おやすみ」

そして私は目をつぶる。

意識が奥に引つ張られ、私はそのまま眠りについた。

「まったく、あんなかわいいとこ見せられたら我慢するの大変なの……」

結衣が寝た後、京子の目が開き、その本人の背中に向かって呟く。

「結衣…好きだよ」

そう言って、京子もまた眠りについた。

## 京結な日常（後書き）

読んでくださり、ありがとうございました。  
これからもよろしく願います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2323y/>

---

ゆるゆり 百合(?)な日常

2011年11月5日02時03分発行